

緑 化 通 信

2014
6月25日
(偶数月25日発行)
第438号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



昭和54年12月7日 第三種郵便物認可

～植生管理士取得者の声～

植生アドバイザー育成講座を修了し、みごと植生管理士を取得された、(株)みちのくビオトープの菅原英典さんに伺いました。



1. なぜ、植生アドバイザー育成講座を受講されたのでしょうか。

植木を生産している者として、どのような環境でどの樹木が生育しているのかを勉強する良い機会だと思い、受講しました。

2. 本講座のすごい所はどこだと思いますか？

一本の木、草でも、なぜその場所に生育しているのか、という理由がわかるようになり、植生調査も出来るようになる所です。今後の自然復元の仕事などへ、必ず役立つと感じました。

3. 植生管理士を取得され、仕事上で役立つことがありますか。

植生調査を経て、植栽地の地形や環境に適した樹木の選定をすることが出来るので、大変役立っています。

4. 受講や資格取得で何か良いことはありましたか。

講座には植木協会会員だけでなく、さまざまな職業の人たちが日本全国から参加されていました。人とのつながりが増えて情報交換など大変役立ちました。

普段の生活では、

自分で山へ行くとき、その場所の環境、樹木などを見てみるようになったことです。

5. 植生アドバイザー育成講座と植生管理士について、感想をお願いします。

植生アドバイザー育成講座は、国内第一線で活躍している講師に直接教えて頂ける大変良い機会です。人とのつながりも増えます。三泊四日食事つきでこの受講料は大変価値があると思います。

植生管理士は、難しい試験でしたが、多くのことを身につける事が出来ました。

6. これからセミナーを受講される方、植生管理士を目指す方々に何かメッセージをお願いします。

今日の日本は、自然災害に加え、異常気象の影響などもあり、多くの自然が失われています。自然を復元するにしても、ただ木を植えればいいというわけではなく、その場所、環境に適した樹木を選ぶ必要があります。植生調査結果をデータ化し、樹木の選定をして、植栽計画まで作成する力を身につけることの出来る植生アドバイザー育成講座で勉強し、ぜひ植生管理士を目指して下さい。私のように木を生産、販売している者には、必ず役立つ資格です。



【植生アドバイザー育成講座・受講生募集内容】

日時 平成26年9月12日(金)～9月15日(月・祝)
A、B、Cコース共に同日開催
場所 群馬県利根郡川場村 世田谷区民健康村・なかのビレッジ
講師 東京農業大学短期大学部
教授 鈴木伸一氏
教授 中村幸人氏
東京農業大学 准教授 福永健司氏 ほか
費用 一般 58,000円
(日本植木協会員は 53,000円)
上記費用に三泊四日の研修費・宿泊費・食事費用等を含みますが、現地までの交通費は含まれません。

植生アドバイザー育成講座

受講者募集開始

緑の環境を創造できる人材を育成します！



平成十五年より毎年開催している本講座は、平成十九年より本協会と東京農業大学総合研究所・みどりの環境創造研究部会の共催事業となり、平成二十一年には環境省・農水省共管「人材認定等事業」の育成事業として登録された。里山の自然回復工事や、都市緑化における環境設計において、プランニングの段階から適切な知識を駆使し、その環境にあった植栽計画を作成・提案することを目指す。そのための能力を段階的に習得できるようにカリキュラムが組まれている。講座では植生学の基礎を学んだ上で、実際に野外で植生調査を行い、そのデータから植栽計画の立案までを行う。そのほか、過去の試験地での補栽なども行う。

環境緑化樹木識別検定

資格認定委員会開催

五月十二日(月)十六時、高梨雅明、山本紀久、より植木協会会議室にて二、十六年度第一回環境緑化樹木識別検定資格認定委員会が開催された。

出席者は、涌井史郎委員長、濱野周泰副委員長、井上花子、卯之原昇、枝吉茂、涌井委員長挨拶、枝吉委員長挨拶、船橋委員挨拶に続き委員長の進行で議事に入る。

議事内容…

1. 報告事項

・今年度、東京会場・東京農業大学にて、七月五日(土)実施。

・今回より八千円に受験料を改定する。(学生は四千円変更無し)

・今回より枝吉茂種委員(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会会長)に

アドバイザー育成講座修了証が発行され、登録される。

また、講座修了者には、植生復元計画の作成能力を有する技術者であることを認定する「植生管理士認定試験」の実技試験が免除される。

「植生管理士認定試験」は平成二十五年度に前述の植生復元計画の作成能力を有する技術者であることを認定する「植生管理士認定試験」の実技試験が免除される。



お知らせ

「環境緑化樹木識別検定」試験の実施について

環境緑化樹木識別検定資格認定委員会
委員長 涌井史郎

(一社)日本植木協会を窓口、広く社会に認知される資格として「環境緑化樹木識別検定」を創設し、樹木の識別に関する知識の基礎を広めるよう努めています。今年も第8回「環境緑化樹木識別検定」試験を下記のように実施し、受験者を募集しますので奮ってご参加ください。

記

費用: 8,000円(学生は4,000円)
定員: 50名(先着順)
日時: 平成26年7月5日(土) 13時開始
場所: 東京農業大学 11号館 演習室
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
・JR 渋谷駅西口バス(渋谷23.24.26系統、約30～40分)
農大前下車
・小田急線 経堂駅下車
南へ(農大通り)徒歩約15分
締切: 平成26年6月30日(月)



就任頂き、環境緑化樹木識別検定資格認定委員は十名となった。

2. 環境緑化樹木識別検定試験実施について

この検定における植木協会員の地方と中央の認識の格差など議論がされた。

・ブロックで主力生産されている樹種にどのようなものがあるのか、全国レベルの樹種、地方向け樹種など情報共有出来れば、今後の考える基礎となる。

・協会としてのメリット、地方と中央との格差について地方の意見を吸収し、効果的にしていくことを検討願いたい。

・地域の遺伝子を守っていく材料カテゴリーも大事、汎用の外来種の活用や仕立物も大事である。

3. 広報について

・植木協会でも議論を高め、課題を上げてほしい。認定委員会でも認識をしていく。

・検定の造園CPD認定取得を検討していく。

・ホームページ掲載報告(受験申込の案内、試験パンフレットは、掲載済み)

・ポスター・チラシについては、関連団体等に配布し募集を募る。

枝・葉クイズ

ワタシの名前がワカリマスか?⑥



※写真は平成25年環境緑化樹木識別検定の試験問題です。

こたえは紙面のどこかにアリマス

2020年東京オリンピックの緑とは

2020年を日本文化やクールジャパン発信の契機に

林野庁森林整備部治山課森林土木専門官

(内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室参事官補佐併任) 永井 壯茂 氏

年間特集

インタビュー
シリーズ

内閣オリパラ室は
オールジャパン体制に
向けた各府省庁の
取組をバックアップ

内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室(以下、内閣オリパラ室)は、下村博文東京オリンピック・パラリンピック担当大臣(文部科学大臣と兼務)を支える事務体制として、昨年の10月4日に設置されました。現在は関係府省庁等の職員等33名で構成されています。

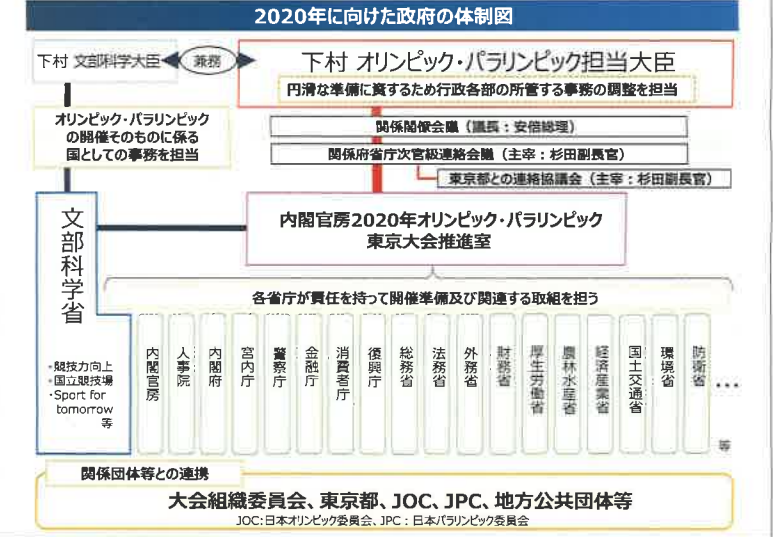
内閣オリパラ室の役割は、日本オリンピック委員会(JOC)と東京都が設立した「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下、大会組織委員会)」、開催都市である東京都の担当部署である「東京都オリンピック・パラリンピック準備局」等と連携しながら、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会(以下、2020年東京大会)の円滑な準備に資するために関係府省庁の所管する事務を調整することです。例えばセキュリティを万全にするためには、警察庁や防衛省だけでなく、総務省や法務省、国土交通省等、多くの府省庁が所管する分野が連携していく必要があります。こうした複数の各府省庁がまたがる案件に対し、横断的な調整やそのためのプロジェクトチームなどをバックアップすることなどが私たちの役割のひとつです。また、ワンストップサービスとして、大会開催準備に係る関係府省庁への窓口機能も受け持っています。

2020年東京大会はスポーツ界と東



2020年オリンピック・パラリンピック
東京大会推進室

(図1)



京都だけでなく、政府や民間等が一体となり、オールジャパンで推進していく必要があります。内閣オリパラ室は、そのオールジャパン体制に向けた各府省庁の取組をバックアップする役割を担っているのです。

文化環境面での発信も
オリンピック開催の
重要な要素

2020年東京大会の開催に向けての当面の目標として、来年2月までに国際オリンピック委員会(IOC)に提出する『大会開催基本計画』を策定することがあります。この大会開催基本計画は、大会組織委員会により策定され、ここに記載される内容には、関係府省庁の関連する施策等も含まれることとなります。

内閣オリパラ室は、大会開催基本計画の策定等円滑な準備に向けて、「国の対応が期待される事項」の取りまとめを行っていました(資料1)。これは、東京都やJOC、日本パラリンピック委員会(JPC)等関係団体、また関係府省庁との意見交換や要望事項等を踏まえて取りま

とめたもので、4月22日に開催された「第1回2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する関係会議(議長・安倍内閣総理大臣)で下村大臣より提示されました。もちろん、2020年東京大会に向けて関係府省庁が関連する施策は記載された事項だけ、ということではなく、今後も関係各府省庁からの提案等によって追加・修正していくこととしており、それぞれに積極的な対応をお願いしているところです。

日本植木協会や会員の皆さんとの関わりが必要となってくるのは、資料1でいえる「文化・環境等」の部分でしょう。また夏の暑い時期に開催するということで熱中症対策も重要視されており、緑陰づくり等の観点から「安全安心」でも関わりが出てくるかもしれません。2020年は温室効果ガス削減目標年でもあるため、2020年東京大会は、日本の優れた環境技術・制度を世界に発信する機会にもなり得ます。このように「環境オリンピック」とすることが大切であり、これを機に「環境都市東京」を実現することも重要であるとの提案も出ています。

また、オリンピックはスポーツだけではなく文化の祭典でもあり、オリンピック憲章にも「大会組織委員会は、短くともオリンピック村の開催期間、複数の文化イベントプログラムを計画しなければならぬ(5章39)と明記されています。IOCは1990年代に、「スポーツ」「文化」に加えて「環境」を加えた3本柱をオリンピックムーブメントとす

実際の取組はこれから
積極的なご提案を
ぜひお願いしたい

2020年東京大会に向けて実際の緑化については、東京都を中心に、基本的には招致活動時に提出された「立候補ファイル」に記載されている方針で進められていくことになるかと思いますが(緑化通信434号参照)。また大会組織委員会でも、今後、緑化も含めた環境対策については、さらなる議論が進められていくと思われます。

植木協会や生産者の皆さんが、今後展開される緑化に必要な苗木生産の部分でご心配されていることは、十分理解しています。一方で国と大会関係者等との2020年に向けた具体的な取組についての議論は、大会開催基本計画の策定などに向けて、今後さらに進められることとなると思います。我々も、関係府省庁が2020年東京大会に向けて積極的な取組を推進し、よりよい環境を整備し、世界最高水準の品質である日本の花の積極的な活用と計画的な生産・供給体制の整備、農山漁村で観光客等をもてなす仕組みの構築などを展開していくという提案ができています(資料2)。植木協会や生産者の皆さんが2020年東京大会に関わっていただく形のひとつとして、こういった動きが参考になるかもしれません。和の空間と言っても室内空間だけに限らず庭木や造園の観点からアプローチできるのではないかと考えていますし、いわゆる樹芸も重要な日本の文化であり、海外で評価が高いことからすればクールジャパンの要素として捉えることもできるのではないのでしょうか。

(資料1)

大会開催基本計画の策定等円滑な準備に向けて国の対応が期待される事項

1. セキュリティ・安全安心
テロ対策、サイバーセキュリティ対策、防災・ライフライン・安全安心
2. 輸送
税関・出入国管理・検疫、観客・関係者の円滑な輸送
3. 外国人旅行者の受入
外国人旅行者の受入
(多言語対応・Wi-Fi環境整備の促進・全国の観光地域での受入・医療環境整備を含む)
4. バリアフリー
競技施設・公共施設等のバリアフリー、障害者への理解
5. 復興・地域活性化
東日本大震災被災地との連携、大会と連携した地域交流・地域活性化
6. スポーツ
競技力の向上・国立競技場の整備等、障害者スポーツ等の推進
7. 文化・環境等
文化プログラムの推進・支援等、大会と連携した和食・木材・花・畳等日本の魅力の発信等、クールジャパンの大会と連携した推進、大会と連携した環境対策等への支援、大会と連携したICT環境の整備
8. その他
記念貨幣の発行、大会協賛宝くじ・記念切手の発行等、記念自動車ナンバープレートの発行、知的財産の保護、受動喫煙防止、式典等大会運営への協力

そういう意味では、例えば農林水産省は、2020年東京大会に向けて我が国の農林水産物・食文化による「おもてなし」を掲げており、安心・安全な国産食材の供給体制の整備や日本食の情報発信、大会施設等での国産木材や畳を活用した和の空

間の整備、世界最高水準の品質である日本の花の積極的な活用と計画的な生産・供給体制の整備、農山漁村で観光客等をもてなす仕組みの構築などを展開していくという提案ができています(資料2)。植木協会や生産者の皆さんが2020年東京大会に関わっていただく形のひとつとして、こういった動きが参考になるかもしれません。和の空間と言っても室内空間だけに限らず庭木や造園の観点からアプローチできるのではないかと考えていますし、いわゆる樹芸も重要な日本の文化であり、海外で評価が高いことからすればクールジャパンの要素として捉えることもできるのではないのでしょうか。

(資料2)

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会
我が国の農林水産物・食文化による「おもてなし」

平成25年11月8日 第8回改訂の農林水産物推進本部資料

日本食で

- 日本食と食文化の魅力を伝える機会を確保
・選手村、観客、マスコミ、VIP等への提供
・ベジタリアン、ハラール等にも対応
・様々な機会をとりあてて
・食育を中心とした日本食の提供・発信
・近隣市場を活用した日本食の提供・発信
・ホテル等と連携した日本食・食文化発信イベントの開催
・「もったいない」精神を発信
・外国人のニーズに対応した新たな商品の開発
- 安全・安心な国産食材の供給システムの構築
・選手村、ホテル等で提供する食料品に
・開催時期(夏季)に合わせた生産体制の確保
- 食育
・食育推進事業の活用による食育の活用
・運動式で(ピクトリーワーク)、マラソンの沿道で
・選手村で、主要都市の空港・駅・公共施設で
・国産花きを計画的に生産・供給できる体制の整備

和の空間で

- 国産材を使用した木造・内装木質化
・大会施設や選手村等の整備、改修に国産材を積極的に使用
・関係施設に国産材の活用を促す
・国産材の活用による環境負荷の低減
・国産材の活用による環境負荷の低減
・国産材の活用による環境負荷の低減
- 国産の畳を使用した和の空間の設置
・選手村、観客席の一等地に
・茶室、書斎等の体験的な空間を設け
・和室(国産産物)でおもてなし
- 環境に配慮した空間づくり
・木質バイオマス、食品廃棄物等を原料とした再生可能なバイオマス
・バイオプラスチックの活用

水際対応

- 海外からのオリパラ関係者・マスコミ・観光客
・輸出入貨物の検閲
・輸出入貨物の検閲
・輸出入貨物の検閲

農山漁村で

- 観光客等を農山漁村で受け入れる仕組みの構築
・農山漁村での農林漁業体験プログラムの構築
・地域の農林水産物を活用した食料品等の提供
・日本の日常生活の体験のための農家民宿の整備
・外国人旅行者への情報発信体制の構築

鈴木恵梨佳

緑豊かな東京都高尾に生まれる。
2013年度ミス日本グランプリ。
大学で学んだ植物や土壌に関する知識、ミス日本での経験
を基に、緑地空間プロデューサーを目指し、日々奮闘中。



和物鉢物、盆栽の生産から、ビニールポット(コンテナ)によるグラウンドカバープランツの生産へ移行し25年。現在は、豊富な品揃え、色とりどりの商品をお客様へ提供しています。
埼玉高速鉄道・浦和美園駅の誕生に伴い、さいたま市岩槻区に生産園場を新設し、合計三箇所の園場を拠点としています。毎日、離れた園場間をグループで移動するため、従業員のチームワークの良さ、和気藹々とした雰囲気を感じさせる社園です。

●(有)グリーンファーム・アンドウ
埼玉県さいたま市岩槻区黒谷竹下409 ☎048-791-2772

2013 ミス日本グランプリの植木協会体験

えりかが行く!

~コンテナ苗植替え&出荷箱詰め~



五月晴れの中、さいたま市でグラウンドカバーを生産している植木屋さん、グリーンファーム・アンドウさんへお邪魔しました!
今回は、コンテナ苗の植え替え作業の体験です。
早速、農場とハウスをご案内頂いたのですが、あまりの種類の多さにびっくり!!!!



予想以上にカラフルなグラウンドカバープランツに感激



①元の鉢から取り出し、根鉢をぎゅっと固める
②大きな鉢へふわっと植え替え
③仕上げに化成肥料

今やグラウンドカバーの植物の種類は、専門の植木屋さんでも把握しきれないほどの量だそうです。訪れた時期は、黄や赤などの葉をもつカラーリーフ・プランツが美しく、グラウンドカバーにこんなにもたくさんの種類があるのだと知ることが出来、なんだかデザインの幅も広がろうと、ハウスや農場を見て歩くだけでも、わくわくして楽しかったです!



丈の違う植物をつめものを工夫しながら詰めていきます



勉強になりました!

あるので、そのことをちゃんと把握して使ってあげることが何よりも大切なんだと教えて頂きました。ですから「こは黄色、こは細い葉っぱ」などざっくりとしたデザインを考えてから、植物のスペシャリストである植木屋さんに相談しながら、植栽植物を決めて行くのが一番良い方法なのかな...と思います。

造園業界で働き始めて三ヶ月...少しは植物の扱い方に慣れてきていたので、今回はあまり苦戦せずに楽しく体験出来ました!しかし、ベテランさんたちのあまりの作業の速さには驚きました!

次に箱詰め出荷体験!

ハウス内で受注した苗をピックアップして箱に詰めて出荷する作業です。...が取材日は、まさに五月晴れ。と

とってもお天気が良く、ハウスの中の気温はぐんぐん上昇!...ほんの少し作業しただけで、汗が噴き出しました!

これでは夏はどうなってしまうのだらうと、考えた

学術委員会からのお願い

学術委員会ではトキワマンサクの同定調査を東京都農林総合研究センターと共同で行う事となりました。つきましては、下記トキワマンサクの種類のご提供をお願いいたします。
九州、中国、四国、関西、中部、関東ブロックで生産されている社園様にご協力をお願いします。
(尚、樹木代、運賃及び梱包代の一部はお支払いいたします。)

記

各社園様の生産品で手持ちの種類のうち、ご提供可能なトキワマンサクをお願いします。

1品種でもお願い申し上げます。

1	トキワマンサク	H	0.5	赤葉	赤花	2本
2	トキワマンサク	H	0.5	赤葉	白花	2本
3	トキワマンサク	H	0.5	青葉	赤花	2本
4	トキワマンサク	H	0.5		咲き分け	2本

ご提供いただける方は、社園名と氏名をご記入の上、事務局までご連絡をお願いします。

連絡先: (一社) 日本植木協会 学術委員会事務局
FAX 03-3586-7577 MAIL kawamata@ueki.or.jp
募集締切り: 平成26年7月31日(木)



グリーンファーム・アンドウさん、本当に素敵な機会をありがとうございました!

ならず、また環境もサウナのような中で夏は本当に大変だなと思いました。
こうやってたくさんの方の愛情と頑張りによってえられて成長し届けられてくる植物たち...このことを知って、自分の勤め先にいる植物たちもさらに愛おしく感じるようになりました。
最後に、今回は一番嬉しかったことを...それは私が植木屋さんで一生懸命働いていたと!女の子が現

場活躍し、頑張っていると知れて本当に嬉しかったです!私をもっと頑張らなくては!と気合いが入りました!

連絡調整会議を開催

本会総務・企画委員会は平成二十六年五月二十二日(木)十三時から十七時にかけて協会・会議室において協議・会議室において協議を開催した。出席者は正・副会長、専務理事、部会担当理事、ブロック長、専門部会長(含青年部)及び事務局等二十三名。

1ブロック等提案事項

宮城県土木部の発注部門へ分離発注の要請をしたこと、全般的な樹木調達の状況について、協会で証明書を出す等の何らかの対応が出来ないか。

回答：情報の提供は可能であるが、証明書の発行は困難であること。報告、ホームページに需給状況の活用意見が有った。

2質問：四十五周



宮城県土木部の発注部門へ分離発注の要請をしたこと、全般的な樹木調達の状況について、協会で証明書を出す等の何らかの対応が出来ないか。

回答：情報の提供は可能であるが、証明書の発行は困難であること。報告、ホームページに需給状況の活用意見が有った。

2質問：四十五周

直し等が提議されたが、試験主催委員から試験は目的でなく手段である事、生の樹木を集めて試験実施している独特な方法である事を説明し、目的としては発注者、施工業者、生産者・流通業者が統一された樹木名で流通されることが必要であると考えられる等の意見が有った。

3質問：役員改選時の総会には必ず東京で開催を要望、各省庁との関係をもっと重視すべきである。

回答：現在は総会終了後お礼状を発出していること、三役が毎年始回り時本庁を表敬していること、必要に応じて挨拶をしていくことを報告。

4質問：各地の街路樹は、適切な樹種選定だったとは思えない。協会として何らかの指針を示すべき。

回答：東京都の街路樹に関する情報を、東京都公園協会関係者に要請して、緑化通信に掲載の予定。

5質問：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

回答：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

6質問：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

回答：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

7質問：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

回答：緑育の実施費用についても見直し要請が有るとともに、委員長から実施費用の事前交付制度の提案が有るので今後検討することとした。

第二十四回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典

秋篠宮同妃両殿下を迎え東京・日比谷公園で開催された。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。

「みどりの感謝祭」の主催は農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会。本協会も協賛団体として、専務理事が記念式典に出席した。



ホソバタイサンボクの花

枝・葉クイズ

こたえ⑥

モクレン科モクレン属

タイサンボク [泰山木]

Magnolia grandiflora

●常緑高木

10m程度 樹形は球形(北米南部で自生)

●特徴・特性

葉は長さ15~25cm、幅6~12cmで、長楕円形または倒卵状楕円形。先は鈍頭、基部はくさび形全縁で波打つ。表面は光沢のある濃緑色、裏面は緑褐色の毛で覆われるが個体によりかなり差がある。6~7月に径15~30cmほどの白色の強い芳香のある花を咲かせる。

類似種/ホソバタイサンボク

◆見分け方

ホソバタイサンボクは葉が長楕円状披針形、葉縁は裏側に軽く巻き込む。

●利用法

公園樹、庭園樹、記念樹。

◆その他

明治初期に渡来した。

【鑑定図鑑 日本の樹木一校・葉で見分ける540種】(三上常夫・川原田邦彦・古澤信行著、日本植木協会編集協力、柏書房、2009)より抜粋

5月12日(月)、ポーランド植木協会のファルコスキ・ギジェコシュ専務理事、通訳のグリス・ヤロスワフ氏の二名が協会事務局を訪問した。今回の来日は、10月25日～11月11日で実施するポーランド植木協会の日本視察旅行の下見を兼ねている。植島副会長、穴倉副会長ほかで応対し、両協会の紹介、視察時の協力体制等を話題に交流した。ポーランド植木協会員は140社。秋の視察研修では30名程度で協会員園場を含む視察地をめぐり、相互交流会開催も検討している。



お知らせ 地域性植物適用委員会勉強会開催案内

地域性植物適用委員会では、植生アドバイザースキルアップ、環境緑化樹木識別研修を兼ね、東京農業大学教授 中村幸人先生を講師に迎えて、東日本大震災後の植生変化の勉強会を下記内容で開催いたします。多くのご参加をお願い申し上げます。

記

- | | | |
|--------|--|-----------------|
| 1・開催日時 | 平成26年 8月5日(火)13時00分～8月7日(木)11時30分 | 2泊3日 |
| 2・集合場所 | 仙台空港 1F 国内線到着ロビー13時00分 | |
| 3・研修内容 | 1日目 仙台空港周辺の海岸植生(フィールドワークと中村先生の座学)
2日目 山地植生～海岸植生(フィールドワークと座学)
3日目 ホテル周辺植生
研修会の内容等の変更が生じる場合があります。
モンタナリゾート 〒989-2455 宮城県岩沼市北長谷字切通1-1 | |
| 4・研修会場 | 1人様 金29,000円(4～5人部屋) | |
| 5・会費 | 50名(先着順にて締切) | |
| 6・定員 | 平成26年 7月15日(火) | |
| 7・締切 | (一社)日本植木協会 | 地域性植物適用委員会 |
| 8・主催 | 植生調査委員会 | 環境緑化樹木識別検定実施委員会 |
- ※詳細は、協会ホームページをご覧ください。

日本列島植木植物園

シャクナゲ‘ネリアーブ レッド’ Rhododendron ‘Neriarb Red’

- * ツツジ科 ツツジ属 常緑広葉樹 樹高 4.0～5.0m
- * セイヨウシャクナゲの選抜品種で、日本の暑さに耐え、どんな所でも植栽できる。
- * 花つきが良く、4月下旬ごろから濃赤色の鮮やかな美しい花を咲かせる。
- * 花はボリュームがあって豪華で、人目を引く魅力的な品種である。
- * 生長が早く、比較的立ち性であるため、写真のように前付きに背の低い花色の異なる品種を組み合わせると効果的。



文章・画像協力：
シャクナゲグループ

ナショナルプランツ コレクション®

※世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

お知らせ 日本列島植木植物園運営委員会企画 軽井沢視察研修会 参加者大募集

カラーリーフ・プランツの美しい季節に、植物の美しい展示、植栽方法などを視察し、事業運営へ活かすことを目的とした研修企画です。千住博美術館ではカラーリーフガーデン設計者・中野嘉明氏によるガイドも頂きます。協会員であればどなたでも参加できます。ぜひ奮ってご参加下さい！

日 程：7月9日(水) 13:00 ～ 10日(木) 12:00

視察先：長野県軽井沢

- ①千住博美術館・カラーリーフガーデン
- ②絵本の森美術館・ピクチャレスガーデン
- ③軽井沢レイクガーデン

諸費用：参加費 3,000円
懇談会参加費 5,000円
宿泊費 7,500円
(チサンイン軽井沢 シングル泊朝食付)

※詳細は協会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

事務局からの
お知らせ

新規採用職員の紹介

四月七日付けで採用になりました佐藤 洋行(さん)うひろゆき)です。
民間企業で得た経験を生かし、(一社)日本植木協会の皆様の事業拡大と発展

の役に立つよう努力し、貢献して行きたいと思いを。今後とも宜しくお願い申し上げます。

【経歴】
昭和三十五年一月二十七日生まれ
栃木県出身
東洋大学経済学部経済学科卒業
【担当業務】
研修・資格委員会、新樹種部会

『大隅植木生産者交流会』
(タマリユウジャパン・鹿児島県)

川尻 幸

平成二十六年四月十五日、午後一時から運営委員会を七社参加のもと開催しました。秋の植え込み実績と春の植え込み予定の数量を検討し、生産流通のシステム化の第一歩を踏み出し

その後の生産技術委員会では、交流会メンバー三十三社中三十社が集まり、春の樹木植え込み時期前ということもあり、植え込み用中耕機、改造オーガ、ユニボ用オーガで、作業工程や時間の効率化についての勉強会を行いました。

鹿児島県、大隅地区は、常緑高木、中木の生産地です。この温暖で広大な農地、施設を生かした植木生産、流通のため、仲間達で行動を起こしています。鹿屋(大隅)発の植木、売店定期便を拡大出来るように願っています。

これからも地方から版などで掲載してもらい、情報発信していきたいと考えています。



鹿屋(大隅)発の植木、売店定期便を拡大出来るように願っています。



直営農場でシマトネリコ 30,000株
タマリユウ 60,000マット
7ha生産中



タマリユウ・シマトネリコ生産販売

タマリユウジャパン

タマリユウ定期便でいつでも・どこへでもお届けします。

●ご注文はホームページ、電話・FAX・メールでも承ります。

〒893-0013
鹿児島県鹿屋市札元2丁目 3727-2
TEL: 0994-44-6993
FAX: 0994-44-6996
URL: http://www.tamaryu.jp/
E-mail: net-shop@tamaryu.jp

4回連載 平成26年度通常総会 記念講演

「自然を守れば自然が守ってくれる (COP 11 標語より)」

講師 涌井 史郎氏



第三回 美しい景観も災害への備えも日本人の自然との付き合い方にヒントがある

日本人には、美しいけれど非常に複雑で扱いにくい自然と対峙してきたという歴史があり、そんな自然とせめぎ合いながら、安心・安全に暮らす知恵や技術を身につけてきました。そのひとつは、空間的に身近に働きかける自然と敬い怖れる自然とを区分して棲み分けること、それから自然をよく読み取って対処すること、そして、争ってもかなうわけはありませんから負けるが勝ちで、自然の力をいやすことを暮らしの中に採り入れたのです。例えば東日本大震災時、自然に逆らうトラス構造でつくられた東京タワーはアンテナが曲がってしまいました。が、当時まだ98%程度の完成度であった東京スカイツリーは、日本の伝統的な木造建築である五重塔と同様の心柱を持つ構造を組み込んだため、全く被害がなかったと言われています。

この日本人は自然をよく読み取り、それに逆らわないという知恵は、日本的な景観も生み出しています。その典型が里山です。例えば山口県岩国市の里山は、集落の裏山が北風を防ぎ、沢筋に植えられたスギが数十年に一度の普請に使われ、落葉広葉樹の二次林は新炭生産に、またその落葉落枝が刈藪き農法の肥料として使われました。アカマツ林の落葉落枝は油分が多く火力が強いので、毎日の煮炊きに使われました。また里山の土が壁に、竹が床に、茅場の茅は屋根となり

緑の減災機能

「森」が命救ってくれた

東京新聞 猛火九死に一生 関東大震災から90年

街の緑化 防火に直結

緑の壁 生かせ

豊かな常緑樹 高い効果

樹木の防火力

大阪府

大阪府の「緑の壁」に頼る「防災」の役割

民家がつくられました。このように里山がひとつあれば、見事に自立循環型の暮らしが出来るのです。しかも、日本の里山は一面ではありません。クヌギやコナラを主とした里山が多いのですが、東北にはブナ系統の里山があります。塩の生産が盛んな地域には、塩を焼くために火力の強いマツが植えられた塩木山が、たたら製鉄が行われていた地域にも、通常の炭よりも火力の強い炭が必要であったことからできた、たたら山など、地域の産業にあわせてつくられた里山もあります。海岸林も、暮らしを守るために人々が長い時間をかけてつくってきたものです。例えば東日本大震災で大きな被害を受けた仙台市の海岸防樹林は、海からの潮と砂で農業が出来る状態ではなかった仙台平野を広大な農地にしようとして伊達政宗が発案し、百年以上の時間をかけてつくられたものです。私は年に百日程度海外に出かけていますが、日本ほど美しい国は他にありません。日本人がいかに自然と関わり、対話をし、せめぎ合い、その結果として自然の力を借りながらも調和した暮らしを続けてきたことが、この美しさをつくりだしているのです。環境の変化や自然災

ウエキノミライ

本業界の歴史、変遷について鋭智を持ったキーパーソンの言葉から、未来を切り開く手を探ります。

一人にひとつのマイプラントを

柴道 昭氏 (しばみち本店・埼玉県)

協会設立にかかわって

植木協会の一番最初は15人ぐらいでした。また昭和30年代だったと思います。時は、高速道路整備など次々と決まり、緑化樹木の需要が急速に高まった時期です。さまざまな業者が植木生産・流通業界に参入し、何かしないとこの業界が無秩序なまま進行してしまう危機感がありました。そこで基盤の整っていた植木屋で集まり、公共緑化工事に組織として取り組み、緑化樹木の安定供給を目指そうとしたわけです。とにかく公共工事が目的でしたから、規格が揃ったものを大量に供給した時代でした。あれから考えると今は違います。イギリスサイズで少量多品目。昔は戸建て住宅といってもスペースがあり、樹木も植えられていましたが、今は土地いっぱい建物建ち、ほんの少しの空間に合わせて植物を置くという感じになっています。スペースはもちろんですが、人のココロにも昔のような余裕がないのかもしれないですね。

植木が売れるために

これからは売り方を考えないといけません。提案型と言ったらよいのか、今、そして未来のお客さまの求めるテーマにあわせて植木を作る必要があると思います。たとえば、虫害の少ない植物、アロマブームにあわせた「かおり」という切り口もいいですし、セット商品にして小さなスペースでも楽しめる木の寄せ植えなんかもいいですね。特徴を持つことは非常に大事だと思います。しばみち本店はマグノリアです。マグノリアは太古の昔からあり、体内に虫が嫌う香りがあり、虫害が少なく、剪定と言っても枝を抜くぐらいで済んでしまいます。これからのお客様のニーズに合う植物だと思ったからです。それで、花・葉の色・形、それから高・中・低木と様々なサイズ、鉢植えで家庭にも取り込めるミニサイズも含め、かなりのコレクション

白玉蘭 (ハクギョクラン) Magnolia x gwenensis 'Hakugyokuran' 丸い蕾が愛らしく、香りも良い。

ヨンを増やし続けています。協会としては、会員がそれぞれテーマを持った商品を開発し、「それならうちに任せてください！」みたいなのがあっていいですね。テーマがあればそれで交流もできます。うちの畑には、開花シーズンになるとたくさんの方が花に癒されに訪れます。植物には人を呼ぶ力がありますからね。

植木の価値がわかる人は国内外で増えてきている、本当は今がチャンスでは？

江戸時代の文献から植木は高級品であったことがわかります。また、海外と日本を比べた場合、日本はかなり植木の価格が低いということがわかります。畑で長い年月と手間暇をかけて成長させる植木を正当な価格に戻す努力は必要ですね。以前はとにかく安くという要求が多かったのですが、最近気に入った商品、魅力的な商品を適正な価格で購入する人が国内外で増えてきているように思います。しばみち本店の商品で、濃いピンク色の花を11月から4月まで開花させる桜は完売御礼となりました。価値を認めてくれる顧客は確実に増えています。もう一度、皆で勉強し、目を養って、価値ある樹木をたくさん創り出し、国内外にアピールしていきたいと思います。

卓上のニオイエゴノキ 'ホワイトドール'。香りに含まれる安息香には、ストレスを和らげるアロマ効果があると言われる。

【編集後記】

「あゝ待ってたよ」帽子をかぶり手拭いを首にまき、商品にかこまれ作業をしていた柴道昭さん(78)が笑顔で出迎えてくれました。早速、ものすごいスピードで圃場内の珍しい植物を次々と紹介してくださいませ。柴道さんは「好きなことってのは、不思議と疲れないんだよね。これは亡くなった横井先生※ともいつも話してた事なんだけどさ。植物に触っていると疲れないね。それと見たことない植物に出会えた時のあのワクワクする気持ち！あれがやみつきのなっちゃってさ。今度スリランカへ行くんで、また出会えるかなあと思って楽しみだよ。」と語ります。年齢を感じさせないはつらつとした姿「夢のある植物」を追い続ける姿に、たくさん元気をいただきました。※千葉大学名誉教授・横井政人先生(新樹種部会名誉顧問)は、昨年9月に逝去されました。紙面をお借りしてご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

庭園樹部会

●平成26年度庭園樹部会通常総会開催の案内

庭園樹部会通常総会及び庭園文化研修を下記の内容にて開催致します。多くの部会員のご参加をお願いいたします。研修会は日本の庭園技術の最高の技、樹木、材料そして建築を見学する予定です。

- 1・開催日時
- 平成26年9月17日（水）15時00分～
18日（木）15時00分
- 2・開催会場
- 京都ガーデンパレス
〒602-0912 京都市上京区烏丸通り
下長者町上ル籠前町605
- 3・庭園文化研修
- 9月18日9時00分～ 国の管理庭園で一般公開していない庭園を見学予定
- 4・特別会費
- 1人様 金 25,000円（ツイン料金）
（総会費・宿泊費・懇親会費・研修会費含む）

※会場までの往復の旅費は個人負担となります。
庭園文化研修会場は国の要人等の関係で変更になる場合があります。

「27年版協会オリジナルカレンダー」 の申込み開始！

価格：350円（税別）／1部（最小ロット10部、別途送料）
申込締切日：8月16日（土）
※大口注文者への割引や名入れ等についての詳しい内容及び申込用紙はホームページをご覧ください
※随時、HPを更新してまいりますので、ご確認ください。

表紙 2つ折 B3判（イメージ図）



5・6月 B3判（イメージ図）



※現在製作途中につき、最終版は変更になる場合がございます

新樹種部会

ムクゲ ‘シュガー ティップ’ *Hibiscus syriacus ‘Sugar Tip’*

※アオイ科、落葉広葉樹、樹高20～30m位。
※最も新しい品種で、葉に明るいクリーム～ホワイトの斑が入り、人目を引く。
※従来の、パールバリエータ、との違いは、クリアピンクで八重咲きの花が完全に開花する点。
※見苦しい種子を生ずる事はないので、炎天下での花がら摘みの作業も必要ない。



協会カレンダー Trees&Shrubs2014 7～8頁掲載

うえき・よろず相談

【質問】

「夏場、芝に使用できる除草剤はありますか？」

【回答】

この質問についての回答は「あります」です。

まず、雑草について簡単に説明します。雑草には大きく分けて「イネ科雑草」「広葉雑草」があります。散布前に何の雑草が発生しているか確認することが大切になります。除草剤は万能ではありませんので散布すれば何でも枯れるというものではありません。

雑草の名前は見た目だけではなかなか判断できない方が多くおられると思います。まずは「イネ科雑草」「広葉雑草」どちらなのかを判別して下さい。その後、どちらに効く薬剤を散布すれば良いかを選択しましょう。

次に夏場に散布できる除草剤についてですが、夏場は気温が高く芝生への葉害リスクが大きくなる時期です。専門家に使用薬剤と使用量を相談されるといいでしょう。

基本的には気温が低い時期の薬量は多め、気温が高い時期の薬量は低めと覚えておくことで葉害リスクは下がります。しかし、全ての除草剤に当てはまるわけではないので専門家に相談したほうが確実でしょう。

では実際に夏場で使用されている除草剤の話をしましょう。

イネ科雑草には「シバゲン DF」「アーザラン液剤」がお奨めです。主にイネ科雑草と一部の広葉雑草に効果がある機能性の高い薬剤です。次に広葉雑草には「MCPP 液剤」「ザイトロン液剤」が良いでしょう。大型広葉雑草にも効果大です。

「シバゲン DF」「MCPP 液剤」は夏場に散布しても芝生への安全性は高いですが、「アーザラン液剤」「ザイトロン液剤」は薬量を間違えると葉害リスクが高くなりますので注意しましょう。仮に葉害が発生しても、よほどの事が無い限り芝生が枯れることはありません。葉の色が黄色くなりますが、しばらくすれば回復するので様子を見ましょう。

夏場という条件で話をしましたが、実は春と秋の年2回除草剤を散布すれば多くの雑草は抑えることができます。夏に目立つ雑草のほとんどが春に発生しているのです。

そして春先に目立つ雑草は秋～冬に発生しています。つまり、春と秋に除草剤を散布すれば夏場の暑い時期に除草剤を散布することも少なくなるのです。芝生への葉害リスクも夏場と違い低いですからそちらをお奨めします。

雑草の発生前に「土壌処理剤」を散布すれば種子からの発生を抑えることができます。そうすれば雑草が目立つこともなく一年を通して綺麗な芝生を管理することができるでしょう。

「草が生えてないのに除草剤を撒くのはもったいない」と思いがちですが、それこそが綺麗な状態を保つコツとなるのです。



「一昨年の4月と9月の二回除草剤を散布して、
雑草がまったく生えていない緑地帯
平成25年6月 尾道市瀬戸田港前緑地帯にて撮影」

回答協力：広島県 大信産業(株) 村上幸弘 氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中！

日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会です。ご自由にお寄せ下さい。

下記の質問へのご回答を広く募集中です！ご回答者には寸志を差し上げております。

8月号用質問 → 「樹に寿命はありますか？」 回答〆切 7月15日（火）

※植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局 緑化通信担当（kawamura@ueki.or.jp）までお寄せください。

お知らせ

コンテナ部会

コンテナ部会研修視察を今年度は北海道の地域性植物とガーデンデザイン研修を北海道林業試験場阿部氏と設計コンサルタントの笠氏を講師に迎えて2泊3日で行います。

多くの方のご参加をお願いいたします。

開催日時 平成26年9月3日（水）13時00～9月5日（金）11時30分

研修ルート 1日目 新千歳空港～上野ファーム～旭川
2日目 旭川～大雪森のガーデン～札幌 市内視察
3日目 札幌～恵庭～新千歳空港
視察先の追加変更等があります。

宿泊施設 1日目ロワジュールホテル旭川
2日目札幌東急インホテル

参加費用 部会員（親族、従業員等含む）お一人金38,000円（ツイン料金）
一般の方 お一人金42,000円（ツイン料金）
尚、新千歳空港までの往復の旅費は個人負担に成ります。

申込締切 平成26年8月10日（日）

第8回 環境省主催「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 日本植木協会賞受賞「照南湖バイオパーク」植樹式開催報告

NPO法人 土湯温泉観光まちづくり協議会
事務局 池田 和也

さる4月10日、「第8回 みどり香るまちづくり企画コンテスト」での日本植木協会賞受賞を記念して、照南湖バイオパークで植樹式を開催しました。

植樹式には、ご来賓としてこの照南湖を所管する小林香福島市長と日本植木協会福島県支部長の安瀬信一様にご参加いただいたほか、地元からは土湯小学校児童11名全員、土湯長寿会、旅館、各町内会から、など総勢70名の中で、にぎやかに開催されました。

当日は、多少風が強かったものの、春の暖かい日差しが時折差し込み、絶好の植林日和となりました。開会式の前には、事務局から環境省が主催する企画コンテストの主旨や受賞した照南湖バイオパーク計画の概要説明、そして日本植木協会様から副賞としていただいた74本の苗木の紹介をしました。

開会式では、小林市長から「福島市には隠れたすばらしい素材がまだまだあり、この照南湖もそのひとつであると思います。特に、この照南湖は元県営のスケート場でもあり、思い出深いところではないでしょうか。「地域の宝」を活かして行くことは行政だけでは限界があり、これからはさらに行政と地域市民が協働して活動していけるようにしたいです。」と祝辞を述べられました。

日本植木協会福島県支部長・安瀬信一様からは、地域の子供からお年寄りまでが参加して今回の植樹が行われたことについて、まずお祝いの言葉を頂戴しました。そして、コンテストの主旨や日本植木協会の活動内容等のご紹介をいただき、その中で、日本植木協会青年部の皆さんが中心となって活動されている「緑育出前授業」の利用案内のご紹介がありました。

祝辞をいただいた後、日本植木協会福島県支部長・安瀬信一様から特定非営利活動法人土湯温泉観光まちづくり協議会渡邊和裕理事長へ、受賞記念のプレートの贈呈がなされ、記念植樹後に地中に挿し込みしました。

植樹では、市長、安瀬福島県支部長、渡邊理事長の3名で代表植樹をし、それから参加者全員で74本の苗木を計画に沿って植樹をして式終了となりました。最後には、参加者全員で記念撮影でした。

今年も6月になると湖面には色とりどりのスイレンが咲き始め、周囲は緑の葉で覆われ、夏から秋にかけてはトンボや水鳥が飛び交います。今回の受賞を機に湖の周囲に簡易散策路を整備したこともあり、例年以上にカメラマンや観光客、市民が訪れ、このバイオパークの良さを伝聞していただければと思います。

そして、植林した苗木が10年、20年後に大木に成長または群生し、今回参加した地元小学校児童11名が大人になって、将来は自分たちの子供へ引き継いでくれるようになることを期待しています。



現地で開花したシャクナゲ



植木協会賞受賞企画「照南湖バイオパーク」植樹式参加者



環境省主催、第8回みどり香るまちづくり企画コンテストにて、日本植木協会賞を受賞したNPO法人土湯温泉観光まちづくり協議会主催「照南湖バイオパーク」植樹祭が四月十日に福島市土湯温泉町照南湖でおこなわれ、植木協会の代表として参加させて頂きました。土湯小学校の児童、先

生、そして地域の方々約七十名位が参加しました。植樹祭の中では市長と記

念撮影をしました。その後のエピソードとしてですが、市長は元環境省出身で、今回の受賞を大変喜んでいました。土湯小学校の児童達といろいろな話をしながら植樹をしました。花・葉・根の役割、そして花にも葉にも幹にも匂いがあり、季節により香りの強弱がある、など笑いながら、和やかに植樹できました。関係者や地域の方々との会話は、苗木の植え方、水のやり方、そしてこの地域が寒冷地のため、肥料の上げ方、冬囲いのしかたなど、なるべく冬枯れさせないための指導もしていました。子供たちの明るい声が響く楽しい植樹祭でした。

環境省「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 植木協会賞受賞団体が植樹式を開催

平成二十五年度第八回

「みどり香るまちづくり」企画コンテストにて日本植木協会賞を受賞した土湯温泉観光まちづくり協議会

へ、副賞の香りの樹木、オシマザクラ、キンモクセイ、クロモジなど計七十四本を贈呈した。贈呈を受け、土湯温泉観光まちづくり協議会では、地元の小学校児童、地域の方々を招待し、記念植樹式を開催した。

地方かわら版

土湯温泉照南湖

植樹祭参加報告

福島県支部長 安瀬 信一
(南引植産・福島県)

あなたの身近な環境に、すてきなかわりの植物を取り入れてみませんか？

「みどり香るまちづくり」 企画コンテスト応募者募集中！

優秀な企画に対しては、「かわりの樹木・草花」を無償で提供し、まちづくりを支援します。

地方公共団体、民間企業、学校法人、NPO、町内会や地域のコミュニティなど、さまざまな皆さまからのご応募をお待ちしています。キャッチフレーズも募集中です。

募集期間：平成26年10月10日（金）まで
主 催：環境省 水・大気環境局
大気生活環境室
共 催：（公社）におい・かわり環境協会
（公社）日本アロマ環境協会
（一社）日本植木協会
副賞提供：（公社）日本アロマ環境協会、
日本植木協会賞は、（一社）日本植木協会からの提供です。

詳しい情報は環境省ホームページから
http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html



会員動向

協会・退会

▷大和園（千葉県）
大木和夫

新樹種部会・退会

▷定松園（茨城県）
小松崎定男
▷有百瀬苗圃（長野県）
百瀬直明
▷小平植木（熊本県）
小平純一

代表者変更

▷小泉植物園（愛知県）
（新）小泉吉永
（旧）小泉文孝

メールアドレス変更

▷小泉植物園（愛知県）
nikogusa@kkd.biglobe.ne.jp

住居表示変更

▷（株）テラヤマ（埼玉県）
〒333-0817

埼玉県川口市
戸塚南2丁目1番40号

計 報

鈴木治郎吉様（東京都）
（株）植治（鈴木光治氏父）
平成26年4月20日没
享年76歳

高岡 寛様（大阪府）
（株）高岡寛樹園
（高岡豊一氏父）
平成26年5月29日没
享年83歳

小平植木

カイツカ

〒861-8045 熊本市東区小山 6-1-10
TEL : 096-380-2706 FAX : 096-380-2830
E-mail : kohiraueki@lime.ocn.ne.jp